http://www.yamanashibeauty.com

2014年7月 山梨県

VOL.1
お母さんの温かさ、温泉の温かさ。

VOL.2
人間も、ワインも、深くなるんだ。

VOL.3
登ってはじめて見えてきた、富士山。

VOL.4
水が教えてくれた、ありがとうの心。

VOL.5
耐えるほど甘くなる、フルーツの味。

萩原 智子（やまなし大使）

山梨県出身 元競泳日本代表
シドニーオリンピック4位入賞
日本水泳連盟理事
山梨学院カレッジスポーツセンター研究員
NHK NEWS WEB 毎週木曜日出演中

お母さんの温かさ、温泉の温かさ。

20歳の時、初めてのオリンピックを数か月後に控え、合宿や大学のレポート提出に追われる日々。余裕のなかった私に、電車の中から聞こえてきた一言が追い打ちをかけた。

「萩原智子、大っ嫌い!」

同世代の女の子たちが、同じ車両に乗り合わせた私に向けて、聞こえるように言ったのは明らかだった。オリンピックのために、ただ必死で泳ぎ続けてきたのに。国の代表になるということは、見ず知らずの人から「大嫌い」とまで言われなければならないのか。

あまりのショックに、家の玄関で、靴も脱がずに私は泣いた。

ただいまも言わず、泣き続ける私を、黙って、抱きしめてくれたのは母だった。どこにそんな力があるのだろう、と思うほどの力でギュっと抱きしめ、理由も聞かずに、ただ一言だけ言った。

「トモは1人じゃないからね」

その日の夜、母と姉と甲府の湯村温泉へ出かけ、電車の中での顛末を話すと、そのシーンが蘇り、また涙がこみ上げた。

「また成長できたね。言ってくれた人に、感謝しないとね」

母の優しさが心に沁みた。玄関で、あれほど泣いたのに、また涙が溢れる。でも思い切り泣くと、不思議なぐらい心がスッキリした。きっと、温かく包み込む、母の強さと優しさが、傷ついた記憶を癒し、前を向く力に変えてくれたのだろう。

あれから14年が過ぎた今でも、温泉に入るたび、あの日のことを思い出す。涙を笑顔に変えてくれた、母の優しさと共に。

人間も、ワインも、深くなるんだ。

一升瓶よりも大きなボトルのワインを抱えて帰ってきた父は、満面の笑みを浮かべ、いつもよりも饒舌だった。

「こんなに大きなワインをもらったぞ。トモがオリンピックでメダルを獲ったら、みんなでこのワインを飲んでパーティしよう」

ワインが好きな父に向け、娘である私のシドニーオリンピック出場を祝い、友人がプレゼントしてくれたというそのワインを、両親は床の間に飾った。

でも私は、メダルを持って帰ることができなかった。メダルまで、0.16秒足りなかった。

帰国して間もなく、街を歩いていたら知らない人に指を差された。

「おいハギトモ、国の税金を使ってオリンピックに行ったのに、メダルの1つや2つ獲れずに何やってるんだ」

水泳をやめたい。誰にも会いたくない。3か月近く、家の中に引きこもっていたら、あのワインを見つけた。床の間にあったはずの大きなワインは、2階の、目立たぬ場所にひっそりと置かれていた。

お父さん、ごめんね。楽しみだったはずなのに、私のせいで飲めないね。謝ることしかできなかった私に、父は静かに言った。

「ワインは寝かせることで、味わい深くなるんだよ。トモも一緒だ。このワインも熟成すればもっとおいしくなるから、水泳選手として、人として、トモがもっと熟成した時、一緒に飲めばいいじゃないか」

今もまだ、その大きなワインは、甲府の実家で私の熟成を待っている。

静かに、温かく。まるで父のように。

ハギトモ物語 VOL.2

登ってはじめて見えてきた、富士山。

今シーズンは休もうか。

コーチから、そう告げられた時、私が感じたのは悔しさでも寂しさでもない。あぁ、これで水泳から解放される、という安堵感だった。

02年の夏、絶好調で臨んだ国際大会。そのレース直後にプールサイドで倒れ、病院に搬送された。過換気症候群。過密日程で疲労はピークに達していただけでなく、当時の体脂肪はたったの6%。女子選手としては「危険水域」と診断された体は正直だった。

次のシーズンは休養に充て、久しぶりに山梨で夏を過ごした。

「富士山に登ったことはある?」

ある日、大学院の先輩が発した何気ない一言から、半ば強制的に富士登山が決定。山梨で生まれ育った私にとって、富士山は登るものではなく、見るものだ。はじめは嫌で仕方がなかったが、八合目にある山小屋で夜を迎えると、真っ暗な闇の中で、見たことがない景色が眼前に広がっていた。

まるでプラネタリウムのように空一面に輝く星。そして、歩いて登ってきた道よりも、ずっと下に、小さく見える花火大会の花火。

すべてのスケールに圧倒され、言葉を失った。今まで自分がどれほどちっぽけなことに悩み、クヨクヨしていたのかを思い知らされた。

登山は人生と同じだ。緩やかな道も、険しい道も、振り返れば自分の歩んできた道があり、行く先には、目指すべき場所がある。

もう一度、世界に挑戦しよう。

私の背を押してくれたのは、紛れもなく日本一の富士山だった。

ハギトモ物語 VOL.3

水が教えてくれた、ありがとうの心。

現役選手だった頃、「海のない山梨で育ったのに、どうして水泳なの？」と聞かれることが嫌だった。
でも今は、胸を張って言える。
「山梨は、水が生まれる場所ですから」
日本列島のほぼ中心にあり、よく見るとハートに近い形をした山梨県は、日本の心臓だ。そしてその場所は、南アルプスの天然水が湧き出る場所でもある。

柔らかな水質はプールの水も例外ではない。海外遠征から帰るたび、髪が脱色し、肌が荒れて母を驚かせていたが、帰国して1週間も山梨で泳げば元通り。水泳選手にとって欠かすことのできない「水」に、私はきっと、誰よりも恵まれていた。

高校1年の時、同じワールドカップに出場したウクライナの選手たちは、経済事情が悪く、国からの支援を得られず、破れた水着を重ねてレースに出場していた。日本代表に入れば、当たり前のように水着もジャージも、すべて新品のものが支給される私たちとは、置かれた環境が全く違う。それなのに彼女たちは笑顔で「夢があれば、どんな状況でも頑張ることができる」と話していた。

適温が保たれ、清潔な水が張られたプールで泳げること。それは決して当たり前のことではないのだと、不揃いな破れた水着で泳ぐ異国の選手たちが教えてくれた。

同じように、これからを担う子供たちに私は伝えたい。

この美しい水に囲まれていることに、感謝を忘れてはならない、と。

水と、笑顔が生まれる場所、山梨から。いつまでも、伝え続けたい。

ハギトモ物語 VOL.4

耐えるほど甘くなる、フルーツの味。

もう一度、オリンピックを目指したい。

5年のブランクを経て、競泳選手として再始動。本格復帰翌年の2010年には日本代表入りも果たし、少しずつ、手応えも得られ始めてきた矢先の11年、新たな試練と直面した。

月経のたび、激痛に見舞われる。その原因を求め、病院に行くと子宮内膜症・卵巣嚢腫チョコレート嚢胞と診断された。放っておけば、不妊症になるかもしれない。結婚して、家庭を持った私に、その言葉は重くのしかかった。考え、悩んだ結果、11年の4月に手術をしたが、オリンピックの選考会まで1年もない。技術も感覚も、手術前の自分とは全く違うジレンマを拭えず、このまま引退しようと、何度も思った。それでも「チャレンジしなければわからない。カッコ悪くてもやり遂げればいいじゃないか」と励ましてくれる夫や家族に支えられ、6月、私は山梨で久しぶりのレースに出場した。

まだ勝負できる状態ではないのだから、泳げただけで十分だ。そう言い聞かせながらも、散々な結果に一番傷ついていたのは自分自身だった。

そんな絶望的な気持ちを救ってくれたのが、山梨のサクランボだ。

30年近く、毎年梅雨の頃になれば何気なく食べていたサクランボを、この時ほど「おいしい」と思ったことはない。どれだけつらくても、おいしいものはおいしい。旬のフルーツが、私に笑顔を戻し、力を与えてくれた。

今冬、山梨の多くのフルーツ農家が豪雪で大きな被害を受けた。それでも、今年も花を咲かせ、実をつけたサクランボやモモやブドウが、多くの人たちに笑顔を与えることを、育てる人たちは知っている。

山梨のフルーツは、今年も元気だ。小さな実に秘めたパワーを、1人でも多くの人に届けるために。

桃とぶどうは、栽培面積、生産量ともに日本一

桃には、肌をきれいにしたり老化防止の働きがあるビタミンCが豊富です。ぶどうは、ブドウ糖や果糖が主成分で、体内に吸収されやすく、疲労回復に効果があります。甘くておいしいだけじゃない、美容の面でも女性におすすめです。

女性を笑顔に変えるものがたくさん。
しい、やまなしのいろいろ。

山に囲まれた山梨県は、多様な泉質を持つ温泉地

美肌にいいとされる様々な効果・効能がある温泉が県内各所から湧き出しています。日々の疲れを癒してくれる温泉にゆっくりつかれば、湯上りの肌はいきいきと輝くでしょう。

言わずと知れた、日本一のパワースポット

古来より信仰の対象でもあった、霊峰富士。眺める姿が美しいのはもちろんですが、富士山の力を感じたいなら、やはり登ってみるのがいちばん。自然の美しさ、力強さに、心からの感動が生まれます。

日本のワイン発祥の地で、ワイナリーの数は日本一

白ワインには殺菌作用があり、赤ワインに含まれるポリフェノールは、活性酸素の働きを抑えてくれることで肌の老化防止に効果的だといわれています。

山梨県には、
あなたにうれ

国内のミネラルウォーターの約4割を生産

ミネラルウォーターの約4割が山梨の水だということからもわかるように、山梨は「名水の里」と言われています。県内には名水百選に選ばれたいくつもの川や湧水があります。